

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
 ◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
 幼稚部1名 小学部20名 中学部11名 高等部13名 計45名 早期発達支援室3名 総計48名 No.6

高等部の前期現場・施設実習(6/21～25)が無事終了しました! ～ 生徒の皆さん、5日間、本当によく頑張りました! ～

先月末(6/21～25)、高等部生徒による現場・施設実習が終了しました。実習初日は緊張していた生徒たちも、後半には自信に満ちた表情で、堂々と作業に取り組んでいました。コロナ禍にも関わらず、生徒たちに、このような貴重な社会体験の場を与えてくださった事業所の皆様に、心より感謝申し上げます。

事後学習として、一昨日の14日(水)、現場・施設実習の報告会を行いました。高等部生徒13名が、それぞれの事業所での体験をレポートにまとめ、学んだことをスライドを使って発表しました。生徒たちは、5日間の活動を振り返り、思い思いに感想を述べていました。その姿を見て、一人一人の成長を大いに感じた次第です。

「経験に勝るものはない」との言葉の通り、まずはやってみて「体で感じる」ことが大切です。全力を尽くした末の経験ならなおさら、生徒たちにとって貴重な経験になったはずです。その学びを、ぜひこれからの生活に生かしてほしいものです。

働く(就労する)ということは、自分が社会の一員として、何かしら役割を担うということです。役割を担う以上、そこには責任が伴います。10月の後期実習では、そんな社会の厳しさにふれることも、必要かもしれませんね。

(生徒の感想 ～報告会の発表より～)

- ・「また、やってみたいと思いました。」
- ・「本当に楽しかった。」
- ・「いろんなことが学べて、うれしかった。」
- ・「ほめてもらえて、うれしかった。」
- ・「苦手なことにもがんばれました。」

報告会に参加していた中学部の生徒たちも、先輩の発表を真剣に聞いていました。(次は自分たちの番だ、という覚悟を感じました!)



【報告会で実習体験を発表する生徒】

「ささよう」はアートがいっぱい!

～ ようこそ! ささようミュージアムへ ～

新型コロナウイルスの影響で、昨年同様、様々な制約の中での一学期となりました。「緊急事態宣言」が発出されたこともあり、学校にお越しいただく機会は限られてしまいましたが、保護者・地域の皆様にご理解とご協力いただいたお陰で、子どもたちは元気いっぱいに、「明るく いきいき」と学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

本来なら、直接学校に来ていただき、見ていただけるとよいのですが、今回の第6号では、「ささよう」の若きアーティストたちの作品を、紹介しておきます。

早朝校舎内を歩いていますと、突然目の前に現れる芸術作品の数々！ 先日は天井から“お化け”が出てきてビックリ！ アジサイ（紫陽花）にヒマワリ（向日葵）に、季節の花もいっぱい。喉がかわいたら、かき氷にスイカまで。花火に、織姫・彦星と夏の風物詩も満載です。そして、変な顔、アンパンマン… 中学部は玉ねぎの皮染めに挑戦し、清涼感たっぷりの飾りつけをしてくれました。“ささよう”は、いつもアートでいっぱいです。コロナが終息しましたら、ぜひ、直接ご覧ください。



ささようミュージアム

学期末の個人懇談会、お世話になりました！

14日（水）、15日（木）の2日間、個人懇談会、お世話になりました。

一学期のお子様の様子について、また、夏休みの過ごし方や二学期に向けての課題など、十分なお話ができただでしょうか。

本校では、この一学期間、お子様の実態把握に主眼を置き、保護者の皆様の思いや願いをお聞きしながら、カリキュラム編成や学校行事等にねらいをもって取り組んで参りました。

しかしながら、コロナ禍での制約もあり、従来通りの方法で実施ができなかった行事等もありました。

個人懇談は終わりましたが、何かお気づきの点や疑問に思われる点などございましたら、いつでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。